

本校児童の実態

- ・教師や仲間の話に耳を傾け、学習課題を意識しながら落ち着いて活動に取り組むことができる。
- ・仲間と合わせたり協力したりして活動することができるが、自ら学びをリードしたり深めたりしようとする意欲は高くない。
- ・交流活動では、相手の考えを受け、考えを変容させたり、新たに構築したりする双方向のやり取りが見られるようになったが、まだ広がりには十分ではない。

学校の教育目標

よく考え 励まし合って やりぬく子

研究主題

対話を通して
 学びの深まりを実感する児童の育成
 ～国語科を中心にして、関わり合いからつながりへ～

めざす児童像

学びを深めるため、自ら対話し、考えづくりを進めることができる児童

〈第4次県教育委基本計画〉

「ふるさと岐阜」で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人

「自立力」「共生力」「創造力」

- ①「豊かな人間性」の育成
- ②「未来を創る確かな学力と実践力」の育成
- ③「健やかな体」の育成
- ④「学びの多様なニーズに応える環境」の充実

〈町小・中学校教育指導の方針〉

- ・自ら考え、自ら決め、主体的に行動し、振り返り、結果に責任をもつ力の育成
- ・話し合って、納得解を見付け、新たな価値を創造する力の育成
- ・学んだことを生かして、社会に貢献する力の育成

研究仮説

「話したくなる」「聴きたくなる」「知りたくなる」ような対話が生まれる場を設け、学習活動を工夫すれば、児童は学びの深まりを実感できるだろう。

研究内容

1 問いが生まれ、解決の見通しのもてる課題設定の在り方

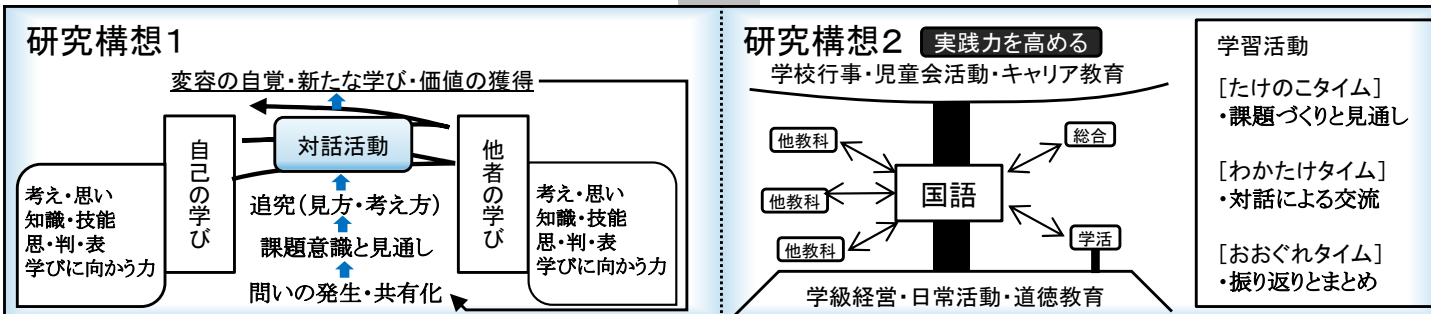
- ① 追究の動機付けとなる導入の場
- ② 学習課題づくりと解決の見通し

2 対話活動を通して学びを深める場の工夫

- ① 対話活動の成立条件
- ② 学びを深める学習活動

3 対話活動を支え、高める教育活動の在り方

- ① 学校行事や児童会活動との関連
- ② コミュニケーション能力を高める指導



基盤となる活動

- ◎ 学習のルール of 徹底 (挨拶・授業準備・机上の整理・声のものさし・ノートづくり)
- ◎ 「聴く」「話す」「書く」指導の徹底 (日常の授業の実践、音読、話し合い活動、朝の会・帰りの会)
- ◎ 表現力を高める対話活動 (朝の活動スキルアップタイム、身に付けたい7つの反応)
- ◎ 基礎学力の向上 (計算・漢字の学習) と検定の実施による学力定着の見届け)
- ◎ 家庭学習の習慣化 (家庭学習の手引き、家庭学習パワーアップ週間)
- ◎ 授業や家庭学習でのタブレット端末のスキルの向上と積極的な活用